

※は小学校で学習する内容

1 次の1~5の問い合わせに答えなさい。

1 次の(1)~(5)の問い合わせに答えよ。

※(1) $5 \times (6 - 2)$ を計算せよ。

20

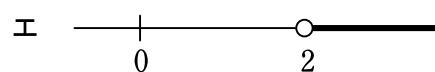
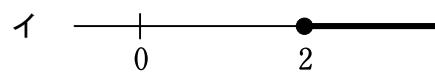
※(2) $\frac{1}{4} + \frac{5}{3} \div \frac{10}{9}$ を計算せよ。

$\frac{7}{4}$

(3) $2\sqrt{7} - \sqrt{20} + \sqrt{5} - \frac{7}{\sqrt{7}}$ を計算せよ。

$\sqrt{7} - \sqrt{5}$

(4) 変数 x の変域が $x < 2$ であることを数直線上に表したものとして、最も適当なものを下のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。



ウ

(5) 次の方程式のうち、4は解である方程式はどれか、下のア～エの中からあてはまるものをすべて選び、記号で答えよ。

ア $2x = 8$

イ $\frac{1}{2}x = \frac{1}{8}$

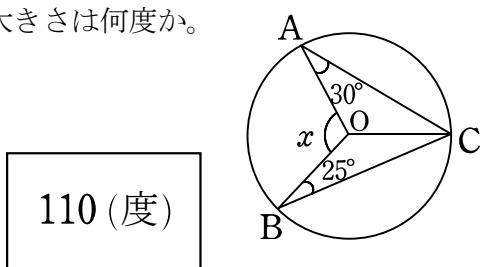
ウ $x(x + 4) = 0$

エ $x^2 - x - 12 = 0$

ア, エ

※は小学校で学習する内容

- 2 右の図で、3点 A, B, C は円 O の周上にある。 $\angle x$ の大きさは何度か。



110 (度)

- 3 関数 $y = x^2$ について、 x の値が 3 から 6 まで増加するときの変化の割合を求めよ。

9

- 4 高さが等しい円柱 A と円柱 B がある。円柱 A の底面の円の半径は、円柱 B の底面の円の半径の 2 倍である。円柱 A の体積は、円柱 B の体積の何倍か。

4 (倍)

- 5 下の表は、オクラの都道府県別収穫量の上位 5 位を示したものである。全国の総収穫量に対する高知県の収穫量の割合は、14.2% であった。全国の総収穫量に対する鹿児島県の収穫量の割合を求めたい。正しい答えが得られる式を下のア～エの中から 1 つ選び、記号で答えよ。

順位	都道府県名	収穫量(トン)
1	鹿児島	5153
2	高知	1733
3	沖縄	1336
4	熊本	851
5	福岡	604

(平成26年産地域特産野菜生産状況調査から作成)

ア $\frac{1733}{5153} \times 14.2$

イ $\frac{5153}{1733} \times 14.2$

ウ $\frac{1733}{5153} \div 14.2$

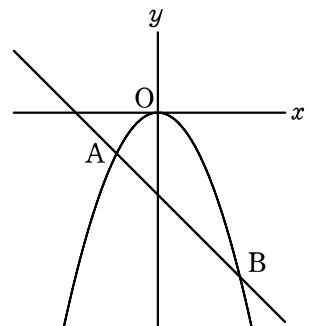
エ $\frac{5153}{1733} \div 14.2$

イ

※は小学校で学習する内容

2 次の1~5の問い合わせに答えなさい。

- 1 右の図のように、関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ のグラフ上に2点A, Bがあり、A, Bのx座標はそれぞれ-2, 4である。直線AB上に点Pがあり、直線OPが△OABの面積を2等分しているとき、点Pの座標を求めよ。



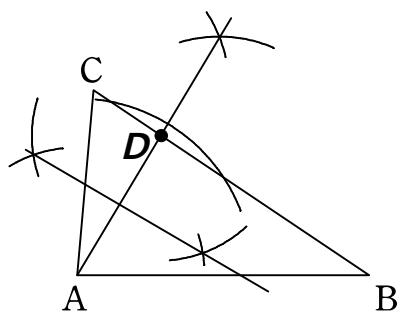
P(1, -5)

- 2 次の文中の□に適当な数を入れ、文を完成させよ。

1から4までの数字を1つずつ書いた4枚のカード[1], [2], [3], [4]がある。このカードをよくまぜて、その中からカードを同時に2枚取り出すとき、取り出したカードに書かれた2つの数の和が□となる確率は $\frac{1}{3}$ である。

5

- 3 右の図の△ABCで、点Aが辺BCと重なるように、△ABCを折り目が1本だけつくように折り返す。折り目を表す線と辺BCが平行になるときに、点Aが辺BCと重なる点をDとする。折り目を表す線と辺BC上にある点Dを、定規とコンパスを用いて作図せよ。ただし、点Dの位置を示す文字Dを書き入れ、作図に用いた線も残しておくこと。



- 4 右の図のように、 $\angle BAC = 90^\circ$ の直角二等辺三角形 ABC と、頂点 A, B, C をそれぞれ通る 3 本の平行な直線 ℓ, m, n がある。線分 BC と直線 ℓ との交点を D とし、頂点 A から 2 直線 m, n にそれぞれ垂線 AP, AQ をひく。このとき、 $\triangle ABP \cong \triangle CAQ$ であることを証明せよ。

証明

$\triangle ABP$ と $\triangle CAQ$ において

$$\text{仮定から } \angle APB = \angle CQA = 90^\circ \quad \dots \text{①}$$

$\triangle ABC$ は、 $\angle BAC = 90^\circ$ の直角二等辺三角形だから

$$AB = CA \quad \dots \text{②}$$

$$\angle CAD + \angle DAB = 90^\circ, \angle DAB + \angle BAP = 90^\circ \text{ だから} \quad \dots \text{③}$$

$$\angle CAD = \angle BAP \quad \dots \text{③}$$

$\ell // n$ より平行線の錯角は等しいから

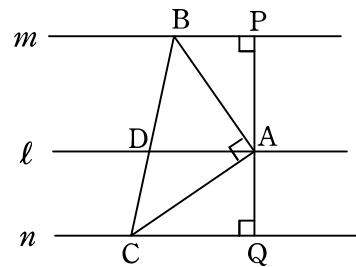
$$\angle CAD = \angle ACQ \quad \dots \text{④}$$

$$\text{③, ④ から } \angle BAP = \angle ACQ \quad \dots \text{⑤}$$

①, ②, ⑤ より、

直角三角形の斜辺と 1 つの鋭角がそれぞれ等しいから

$$\triangle ABP \cong \triangle CAQ$$



- 5 1 個の値段が 120 円, 100 円, 80 円の 3 種類のりんごを合わせて 17 個買い、1580 円支払った。このとき、80 円のりんごの個数は 120 円のりんごの個数の 3 倍であった。3 種類のりんごをそれぞれ何個買ったか。ただし、120 円のりんごを x 個、100 円のりんごを y 個買ったとして、その方程式と計算過程も書くこと。なお、消費税は考えないものとする。

(式と計算)

80 円のりんごの個数は $3x$ 個と表される。

$$\begin{cases} x + y + 3x = 17 \\ 120x + 100y + 80 \times 3x = 1580 \end{cases} \quad \dots \text{①} \quad \dots \text{②}$$

$$\text{①より } 4x + y = 17 \quad \dots \text{③}$$

$$\text{②より } 360x + 100y = 1580 \quad \dots \text{④}$$

$$\text{③} \times 10 \quad 40x + 10y = 170$$

$$\text{④} \div 10 \quad \underline{-} \quad \begin{array}{r} 36x + 10y = 158 \\ 4x \qquad \qquad = 12 \end{array}$$

$$x = 3 \quad \dots \text{⑤}$$

⑤を③に代入して

$$\text{答 } \underline{(120 \text{ 円のりんご}) 3 \text{ (個)}}$$

$$\underline{(100 \text{ 円のりんご}) 5 \text{ (個)}}$$

$$\underline{(80 \text{ 円のりんご}) 9 \text{ (個)}}$$